

高知市が行うコミュニティ計画策定への支援

① 財政的な支援

● 地域内連携協議会 「コミュニティ計画策定補助金」

補助の目的

コミュニティ計画を新たに策定する事業への補助（会議の案内・消耗品の購入等）

上限 **25万円**
(年額・補助率10/10)

② 人的な支援

● 地域活動応援隊の配置

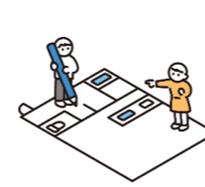
会議等におけるアドバイス・進行の補助

コミュニティ計画策定会議におけるファシリテーション（意見の聞き出し・集約など）や課題解決に向けた話し合いの進行を補助します。

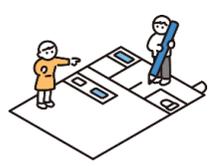


③ 地域と行政の役割分担表（あくまでも目安となります。）

実施時期	ステップ	内容	役割		備考
			地域	高知市	
事前準備 【前年度】	事前準備	計画のイメージ等に 係る資料作成	○	◎	地 域：連携協全体でのイメージ共有・話し合い 高知市：資料作成
		計画策定会議への 参加呼びかけ	◎	○	地 域：所属団体等への参加呼びかけ 高知市：庁内関係部署の調整
	アンケート	アンケート作成	○	◎	地 域：アンケート内容の検討・決定 高知市：アンケート作成
		印刷・配布	-	◎	高知市：アンケート印刷・配布
	地域情報 収集	地域活動一覧表の 作成	◎	○	・ 既存計画の振り返り ・ 既存団体の活動状況の調査
		子ども会議の開催	◎	◎	地域のご希望に応じて、子ども会議を開催
その他	説明会の開催	◎	○	計画を知ってもらうとともに、アンケートの回収率 や策定会議の参加者アップを目的に開催	
	策定の過程 【計画素案作成】	アンケート調査の 集計・分析	○	◎	地 域：アンケート調査結果の確認 高知市：アンケート集計・分析
アンケート調査 結果の配布		◎	○	地 域：アンケート調査結果の地域への配布等	
案内文書		◎	-	地 域：開催案内文書の作成・印刷・配布 高知市：HP掲載等の支援	
会議進行		◎	◎	地 域：開会のあいさつ等 高知市：策定に係る事務的説明、ファシリテーター	
会場予約		◎	-		
物品準備		◎	○	高知市：貸出可能な物品を貸し出します	
資料作成		○	◎	地 域：必要に応じた資料の作成 高知市：策定会議の流れ、GW等の資料作成	
資料印刷		◎	◎	地 域：参加者人数分（地域の方）の印刷 高知市：参加者人数分（高知市分）の印刷	
会場設営		◎	◎		
広報紙の 作成・配布		◎	○	地 域：広報誌の作成・配布 高知市：HP等での周知	
策定の過程 【完成に向けて】	計画のまとめ・ 冊子の作成	作成	-	◎	高知市：計画素案を基に、計画冊子案の作成 ※委託の場合は、地域負担
		印刷・配布	◎	-	
		レイアウト編集	◎	◎	地 域：計画冊子案のレイアウト検討 高知市：会議等で出た意見を基に、修正
	照会・報告	-	◎		地 域：計画冊子案の共有 高知市：行政に係る取組事業の庁内照会・報告
計画冊子の 完成	印刷・配布	◎	-		地 域：計画冊子の印刷・地域への配布 ※地域から高知市に50冊程度納品していただく



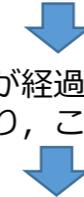
まちの未来をみんなで 考えてみませんか？ ～コミュニティ計画の策定～



《コミュニティ計画とは？》

コミュニティ計画とは、地域の取組、魅力や課題など、地域の思いがまとめられた地域ごとの計画であり、行政計画と市民計画の両方の側面を持っています。

この計画は、平成6年度から平成21年度まで、概ね小学校区を単位とした28地区で各地区のコミュニティ計画が策定され、市に提案されています。



しかし、以前の計画策定から長期間が経過したことや、社会状況等が変化したことから、地域には新たな課題が出てきており、これまでの計画を見直す必要がありました。

新たなコミュニティ計画の策定

新しい計画の考え方

- ・ 計画期間は **5年間** 程度
- ・ 地域の方が主体となって取り組むことができる **ソフト事業**
- ・ 計画策定・推進の主体は **地域内連携協議会**



計画策定の趣旨

① 各団体の活動を知る・まとめる

各団体の活動を知り、取りまとめることで、各団体の強み・弱みを分析します。

② 地域課題の発見・分析

アンケート調査を実施することで、各地域の課題や傾向を分析します。

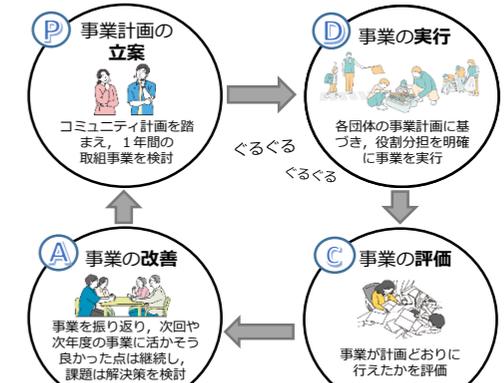
③ 地域の連携・協力体制の構築

人口減少・少子高齢化・つながりの希薄化などの課題が想定される中、様々な団体等が連携・協力して取り組むことがより重要になってきています。

そのため、本市では「コミュニティ計画」の策定に合わせて、連携・協力による「役員の負担軽減」や「既存事業の合同開催」などの既存事業・組織体制の見直しを推進しています。

④ PDCAサイクルによる計画の推進

PDCAサイクルによる計画の推進に取り組むことで、各団体の特性に応じた活動に「計画性」と「実行性」を持たせ、将来にわたって持続可能なものにしていきたいと考えています。



【P (計画) ⇒ D (実行) ⇒ C (評価) ⇒ A (改善)】

